



祝上位入賞

第54回インターハイ剣道大会

男子団体 第3位 (23年ぶり)

男子個人 準優勝 岩川 力

優秀選手賞 岩川 力

南翔

秋田県立秋田南高等学校
同窓会会報

「南翔」 第四十七号
題字揮毫
第十一代校長 松本健先生

この四月、四年間本校の校長を務め、素晴らしい実績を挙げた誉田校長のあとで引き継いで赴任した米田と申します。日ごろ同窓会の皆様には母校のためにご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、昭和三十七年創立の本校は今ある五十年周年に向けて新たな一步を踏み出しました。「希望の光 飛躍の風 みんなみ」の合言葉を胸に多くの方々が集い創立四十周年を祝った平成十四年で四十五周年を迎える大きな節目であります。

さて、昭和三十七年創立の本校は今ある五十年周年に向けて新たな一步を踏み出しました。「希望の光 飛躍の風 みんなみ」の合言葉を胸に多くの方々が集い創立四十周年を祝った平成十四年はそれまでの十年間の大きな飛躍を確認するときでもありました。その五年前、進学実績で急激な伸びを示した平成九年は現在の校舎が完成した年であり、その校舎の偉容は「文武両道」を標榜する秋田南高等学校のその後の躍進を予期させ、やがて現実にそれをお象徴するものとなつたのであります。以来、秋田県の進学校としてトップグループに入る実績を挙げ、堅実に進学実績を維持しながら今日に至つてきております。そして今、本校の教職員はその合格者数・進学者数に甘んずることなく、いわば「質」への転換を図るこ

るこの四月、四年間本校の校長を務め、素晴らしい実績を挙げた誉田校長のあとで引き継いで赴任した米田と申します。日ごろ同窓会の皆様には母校のためにご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、昭和三十七年創立の本校は今ある五十年周年を迎える大きな節目であります。

さて、昭和三十七年創立の本校は今ある五十年周年に向けて新たな一步を踏み出しました。「希望の光 飛躍の風 みんなみ」の合言葉を胸に多くの方々が集い創立四十周年を祝った平成十四年はそれまでの十年間の大きな飛躍を確認するときでもありました。その五年前、進学実績で急激な伸びを示した

平成九年は現在の校舎が完成した年であり、その校舎の偉容は「文武両道」を標榜する秋田南高等学校のその後の躍進を予期させ、やがて現実にそれをお象徴するものとなつたのであります。以来、秋田県の進学校としてトップグループに入る実績を挙げ、堅実に進学実績を維持しながら今日に至つてきております。そして今、本校の教職員はその合格者数・進学者数に甘んずることなく、いわば「質」への転換を図るこ

る基本的生活習慣の確立を一層徹底しながら、さらに素晴らしい実績を生み出すべく、教職員一同、精一杯頑張っていきたいと思います。誉田前校長が述べておられたように、五年後の創立五十周年までには「成熟」の域に達していることを願つて、皆様方からのご指導、ご助言も賜りながら努力してまいります。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

時期にきているとの強い認識で、生徒一人一人が入学時点で目標としている大学に合格できるよう毎日一生懸命指導に当たっているところです。

一方、学業面での実績と共に本校は部活動においても大きな成果を示しており、剣道部や吹奏楽部での全国レベルでの活躍は特筆すべきものがあると思思います。特に、この八月に佐賀県で行われたインターハイ(全国総体)における剣道部男子団体三位という偉業は、昭和五十九年の秋田インターハイ以来、実に二十三年ぶりのことになります。また、三年連続全国大会に出場し、今年は「お休み」にあたる吹奏楽部も活発な活動をしながら、来年以降を視野に入れ全国での栄冠を虎視眈々と狙っています。その他にも運動部、文化部とともに多くの実績を挙げ、文武両道を掲げる本校の活性化に大いに貢献しております。

南翔
HP

<http://www.akitaminami.net>



秋田南高等学校 校長 米田進

二期の会

秋田県立秋田南高校2期生

還暦を祝う会



時年一月八日高松の一期生の
還暦祝いが八郎潟ハイツで開催されました。今年一月南高
の同窓会南翔会の新年会があつた
り、二期生も還暦祝いをやつたらどうかということになり
まして、二年毎の同期会とは別に有志を募り、二月に準備会が発足しました。糺余曲折を重ね、七月十四日彌高神社で行うことができました。因
師の先生は芋田先生、岸先生、橋本先生、杉田先生、宮本先生

生、加藤先生、輕部先生、佐藤正先生、碓井先生が、同窓会からは吉田一生会長が御出席下さいました。総勢90名となり、盛大な祝賀会でした。吉田会長からは南高の同窓会の活躍ぶりが紹介され、我々も誇らしい限りでした。我々二期生も還暦を迎えたがまだまだ社会で役立とうといふ決意を新たに職場に戻つた方も多いのではないでしようか。二次会はビューホテルでしたが、別れが名残惜しく川反方面に消えていった方も多く、ようでした。

今後も後輩の皆様には還暦祝いが継続して下さいますと、お願い申し上げます。

「七月十四日開催」



四期の会

「有樂町で逢いまじゅう！」

「一期会、一度東京で開いてー」の声がちらほら聞こえてきた折、昨年一期生が還暦の会を秋田で開催し、大盛況のうちに宴々?と旧交を温めた云々を伝え聞きました。それではぜひ私たち一期生も一年後の還暦の会大盛況を目指して、まず、プレ還暦祝の会を開きましょうという呼びかけに、男性三人、女性七人にによる女性上位の有志十人が平成18年11月に東京駅に集まり、実行委員会を結成しました。

池田昭子（旧保坂）さんの司会進行により、実行委員長の鈴木義信さんの開会の挨拶、保坂武文さんの乾杯と続き、南高校の沿革をピックアップ

醉いも適当に回り大いに盛り上がりました。それでも二次会では収まらず、ニュートーキョウのビルの上階から徐々に階下へと移動し、三次会、四次会、最終は、六、七人？酩酊しておりまして定かではありません。楽しかった長ーい一日は23時で終わり、やっと帰路についたのでした。

四期幹事
K · Y
「三月十日開催」

準備の会議を重ね、ついに平成19年3月10日、有楽町ニュートリニティ・キヨード（ラ・ステラ）ビルにて開催されました。卒業以来38年ぶりで、期生の第一回同期会が開かれました。まずは会場受付にて懐かしい顔を確認し、手作りのネームカード・テーブル番号をもらいました。いざ会場内へ！胸のネームカードを見ながら面影を探し、首をかしげて考え壁に

ます会場受付にて懐かしい顔を確認し、手作りのネームカード・テーブル番号をもらいい、いざ会場内へ！胸のネームカードを見ながら面影を探し、首をかしげ、考え、壁に貼った卒業写真の拡大版で昭らし合わしたりして；そうこうしているうちに、13時30分、初めてご逝去された恩師の方々・同期の方々に黙祷を捧



恩師は今

今回ご登場いただき恩師は南高野球部長を永く勤められた名物先生「竹内一朔先生」であります。

同窓生 野球部のOBから今でも敬愛を受けられておりますが、発せられる毒舌は今まだ健在、元気の源と伺っております。この度そんな先生が、演劇部の顧問をしておられたといふ話を聞き、当時の思い出やら近況を語つていただきました。

「夕鶴」の事
竹内 一朔



秋田南高校には、十三年間、お世話になつた。そのうち、演劇部の部長が三年、残りは野球部の部長であった。

昭和三十九年、南高へ赴任したら、即、三年の担任、当事は担任二人制で、高校の時同級生の岡部先生とコンビになった。

演劇部の顧問は、同期に南高へ来た細矢さん。では、一年、二年の時に演劇部というのはなかつたのか、部会があつて「今度顧問になりました竹内です」と云うような記憶は全くなき。

夏休みの前に、教頭の大黒と聞かれた時は、「我が耳を疑つた。開催地、九州博多。前任

校では、秋田市への出張も、渡され、「行って見ますか。」

新幹線もない時代なので、ひとりえずは東京へ行って、泊し、翌日の正午、東京駅から出る特急「さくら」で博多へは翌日昼近く到着すると

期間はたしか二日間、九時から五時まで、全国から選抜

野球部の部長であった。

小林吉憲君(二年) 先生には、子役四人程、探して来て下さい。

私は仕方なしに、牛島小学校へかけあいに行つた。あちらの教頭先生に会つて、四年位五年生で、南高に近い所に(当時の牛島小学校は位置が違う)居住するお子さんで、四時頃から五時半頃まで、父兄の了解を得てお借り出来ないでしようか。今なら、絶対にうんとは云つてくれなかつたろうに、かえり見て、常識

された演劇を午前三校、午後三校、観ているだけで疲れ、夕食後、旅館では演劇に関する話合い、朝から晩まで、演劇漬けにされて、頭の中に残つたのは、顧問が「脚本」を書く是非、「夕鶴」は高校演劇ではやるべきでない、という結論。帰つて来てから、学校へ行つたら、机の上に、ガリ版刷りの「夕鶴」の脚本が上つていた。十月の文化祭での出し物だった。「高校演劇で『夕鶴』だけはやるべきでない」九州まで行って唯一の結論が今更、かえるという訳にはいくまい。部長の鈴木綾子さんを呼んで、翻意をすすめたが、「もうキャラステイングも決つていますので」

ひょう!! 長谷川裕子さん、ひとつ!! 長谷川裕子さん、とうず!!

裏方の音響効果、つうのシリエットは佐々木俊一郎君、その後自前の配電盤を作つたのは佐々木弘君。

代目一志賀波さん。

こうして、南高演劇部は、「夕鶴」でスターし、私は、高校演劇は「夕鶴」をやるべきだと、現在も思う。

日本エアーサービス株式会社
国土交通大臣登録旅行業第644号・日本旅行業協会会員
所長 小笠原 和則
19期E組卒
秋田営業所
秋田市山王二丁目1-60アイデックスビル
TEL 823-6000 FAX 823-6100
本社(東京) : (03)3496-7711代

L P ガス、床暖房、冷暖房
住宅設備機器、メンテナンス、灯油
株式会社
ONO PROX
代表取締役 小野隆三 第3期F組卒
小野隆史 第29期I組卒
秋田市新屋扇町7-41
TEL (018) 828-2108
FAX (018) 828-2177

総合保険代理店 **Rise Co.,Ltd**
保険のご相談なんでも承ります。
情報提供が仕事です。
株式会社 **ライズ**
代表取締役 清水 毅彦 19期D組卒
〒010-0954 秋田市山王沼田町1-15
TEL 018-824-6171
TEL 018-824-6172

国土交通省東北地方整備局
秋田河川国道事務所
長濱谷 和典さん
(24期生A組)

「道」。それは私たちの生活に欠かせないもの。国道、県道、高速道路など私達は多くの道を通り、その恩恵を多く感じている。今月、日本海沿岸東北自動車道の仁賀保(岩城間約33km)が開通する。約33kmのうち、国と地方が費用を負担して整備をした「新直轄区間」(本庄→岩城間216km)としては全国で初めての開通のこと。そんな歴史的な事業にかかわり大活躍中の卒業生がいた。長濱谷和典さん(38)は24期生。現在、国土交通省東北地方整備局・秋田河川国道事務所・



活躍するOB

工務第二課の係長。道路に係わる予算管理・執行を行なう重要な業務を担い、多忙な日々を送っている。

Q 現在のお仕事に就いたきっかけは?

長男ということもあり秋田で働きたいと思っていました。

地元志向ってことですね。周囲の薦めもあって国家試験を受け、無事合格することができます。

省東北地方建設局は、県内事務所も多く、職種はともかく秋田県内で働けるチャンスがあると思っていました。ところが最初の赴任地は山形県の酒田でした。山形県内で5年間、その後仙台で4年間の勤務。県内勤務になったのは、平成14年の本荘国道維持出張所からです。現職は3年目となりました。

Q 高校時代はどんな南高生でしたか?

三年間陸上部に在籍しましたので、高校時代は陸上一色

Q ご家族について教えてください。

妻と一女(7歳)一男(3歳)の四人家族です。普段仕事で遅く帰ることが多いので、休日は子供達と過ごす時間を作っています。大森山動物園に遊びに行くことが多いですね。それと、「年に一度はディズニーランドへ行こう!」を家族の目標にしています。

お忙しい中、本当にありがとうございました。

取材当日は、日沿道開通直前。多忙中にもかかわらず、気さくな対応で接していました。郷土秋田の道路整備の一助として働く姿は、まさしく「がんばる南高卒業生」そんな印象を受けました。

(取材 19期 小笠原和則)

でした。種目は200m、リレーなど短距離でした。思い出は三年生の時の全県総体です。私は、左太も裏側の違和感をチームに隠しました。東北大会出場が私達の目標であり、主将としてチームを率いてきた私にとっても正念場のレースでした。結果、左太もも裏側を肉離れしてしまい、何とかアンカーリバトンを繋いだものの目標達成には至りませんでした。あの日のことは一度も忘れたことはありません。

スケジュールには至りません

でした。あの日のことは一度も忘れたことはありません。

Q 最後に今の思いを一言

国民の血税を預かり「道」に係わる仕事をしています。

地域住民の視点に立ってその必要性を考え、説明責任を果たし、納得していただける事業を行なうことが大切です。今回の大沿道の開通にあたっては、数多くの苦労もありました。事業移管からの全国初の開通。約33kmの開通という歴史的な事業に関わったことは、私の人生にとって大きなプラスとなりました。この経験を活かし、これからも地域住民の皆様に喜んでもらえる「道」作りに励んでいきたいと思います。それから:今年は、忙しくて約束を果たせていない家族のためにも「ディズニーランド行くぞ!」

税務のご相談は……

宇佐見康伸税理士事務所

税理士 宇佐見 康伸 (4・A)

事務所／秋田市中通五丁目6-33

TEL 018-832-8045

人事・賃金・社内諸規程
労働・社会保険等の労務全般

渡辺博人社会保険 労務士事務所

社会保険労務士 渡辺博人 (12・F)

秋田市桜ガ丘二丁目4-9

TEL 018-831-5280

FAX 018-831-5287



ソフトウェアの受託開発
ホームページ作成

株式会社 エイチ・アイ・ティ Human Interface Technology

代表取締役 川合 俊昭 5期E組卒

システム部課長 安部 雅彦 21期D組卒

〒010-1623 秋田市新屋町砂奴寄4-11

秋田県工業技術センター内

TEL 018-895-5515 FAX 018-895-5516

野球観戦記

第13期 吉田 一生

夏を振り返る

母校の甲子園出場を夢見て球場に足を運ぶ。今年で25年(四半世紀)の歳月が過ぎた。足を運んだのは夏の大会だけではなく、春季、秋季大会とほぼ全試合を観戦、応援してきた。北は田代球場、南は今年の主戦会場となるグリーンスタジアム横手。数えてみたら県内14カ所の球場に足を運んでいた。

今年の三年生は野中監督の体制になった年に入学した子供達だ。昨年の秋、そして春と全県大会出場を逃している奇しくも野中監督の前任校、そして初の決勝まで導いた鷹巣高校。因縁いたものを感じる。何とか勝利をものにして欲しい。先発投手は1番か10番どちらかなと思っていたが、実際見るのは初めてだった。鷹巣高校の先攻で始また。中村は堂々と初回の表を

押された。その裏にも先取点を中村にプレゼントした。それがいい。しかし3回に同点とされ、7回まで緊迫したゲームが続く。一年生には酷なゲーム運びだ。上級生に一年生を楽にしてやれとスタンンドから大声を張り上げたのが聞えたのか、7回裏に勝越し点を上げる。そのまま逃げ切って欲しかったが9回表に同点とされる。延長に入り11回押出デッドボールサヨナラ勝ち。

喜びと悔けなさと、一年生投手の活躍の賛辞の交錯する気持ちで帰路についた。翌日は球場地元の横手高校との二回戦。先取点を上げリードしながら7回に大量失点の逆転で敗れる。今年の夏も終った。早い夏だった・・・・・。決して力が無いチームとは思っていない。あと一本、あと一球に対する何かが足りない。以前も記事で書かれていた「勝ちたい!!」、甲子園に行く「なんだ」と言う「執念」ではないか。

今夏の甲子園優勝校は県立佐賀北高校、毎試合彼らには決して力が無いチームとは思っていない。あと一本、あと一球に対する何かが足りない。以前も記事で書かれていた「勝ちたい!!」、甲子園に行く「なんだ」と言う「執念」ではないか。

同年1月に第9号名簿が発刊されました。その後多くの同窓生から購入をいただき心から感謝申し上げます。

同窓会名簿は同窓会の運営はもとより各地域支部、職域支部、クラブOB会、同期会、クラス会などの運営に欠く事はできないものです。

名簿作成事業は同窓会の最大の事業と言えますが、現在予定の部数の販売に至っては、同窓会の事業そのものの成功に寄与していただくとの対応をお心でご購入を宜しくお願い申し上げます。

購入に当たってはホームページから申込みいただくなきらめない執念を感じた。

同じ県立高校の彼らを手本にしながら希望を持って邁進して欲しい。君達に激を飛ばしながら見守り期待している先輩がいることを忘れないでほしい。執念だ!

今年の夏は連日の猛暑でした。が皆さんはどのように夏を乗り切られたでしょうか。涼しい場所を見つけては寝転がる。これもある意味スローライフ、エコライフだと言つたら少し言い過ぎでしょうか。北極海の氷が最小を記録するほど地球温暖化が進んでいるというニュースを聞くと真剣にストップ温暖化のためにエコライフを実践しなくてはいけませんね。

そんな中、母校の後輩たちは暑さを物ともせずにインタハイでの剣道部を始め、とても輝いています。輝きの裏には想像を超える努力と経験の積み重ねがあったことでじょう。「継続は力なり」という言葉は勇気を与えてくれます。「好きこそもの上手なれ」という強い言葉もあります。後輩たちの努力にはかないません。まだ未購入の皆様には、同窓会の事業そのものの成功に寄与していただくとの対応をお心でご購入を宜しくお願い申し上げます。

商翔ゴルフコンペのお知らせ

同窓会ゴルフ同好会では、次の要綱で開催いたしますので、奮ってご参加ください。

● 日時 10月20日(土)
9時10分から7組

会場 秋田カントリークラブ
申込 佐藤竹昭(5/D)
ホームページから也可

090-1062-6584

同窓会名簿第9号 購入のお願い

編集後記

企業経営のパートナー

川村行政書士事務所

*経営法務部門
・建設業許可・貨物運送事業許可・宅建業免許・産業廃棄物
・パチンコ店営業等各種許認可業務・医療法人、NPO法人設立
・株式会社設立・新会社法対応定款作成
・相続、贈与に関する法務・相続及び手続業務

所長 川村良喜
第4期A組卒

秋田市泉中央六丁目5番18号 シャロム泉1F
TEL 824-8171 FAX 865-5383

◎㈱エイチ・アイ・ティ
TEL 018-895-15516
FAX 018-895-15515
川合俊昭(5期E組)

記入欄
(16期 雅楽代昭子)

各種印刷・ホームページ作成
電子組版・電子文書処理

株式会社 くまがい印刷

代表取締役 熊谷正司(4・A)

秋田市中通六丁目4-21
TEL 018(833)2220㈹ FAX(833)6732

~秋田駅とともに100余年~

株式会社 関根屋

代表取締役 金子達也

25期J組卒

秋田市東通一丁目1番26号

TEL 018-833-6461 FAX 018-831-4062